


 Steiff

Little Santa 2018

リトルサンタ 2018



ケーブルの右側には
高級感のあるスワロフスキー

Little
Santa

ケーブルの左側には
“Little Santa” の刺繍

“Little Santa 2018”

リトルサンタ 2018

678646 ¥31,000(本体) / 日本限定1,500体
モヘア / 24cm / 9月下旬発売

1997年から毎年、日本限定クリスマスモデルとして「リトルサンタ」を発表し、好評のリトルサンタシリーズ。2018年度は、クラシックなクリスマスをイメージし、ブラウンのモヘアに、サンタをイメージしたケーブルを被っています。足の裏には年号の2018年、“Little Santa”の刺繍は、今作はケーブルに施されています。口周りの切り替えしのあるモヘアは、顔の輪郭をはっきり見せ、そのかわいらしさを存分に表現。手足首と5か所にジョイントが入っており、動かすことができます。



History of Steiff

シュタイフ社と創業者マルガレーテ・シュタイフ

「テディベアといえば、シュタイフ」世界的にも有名なこのぬいぐるみブランドを創業したのは、1847年南ドイツ・キンゲンという小さな街で生まれたマルガレーテ・シュタイフ(1847~1909)という女性でした。彼女は1歳の時、小児麻痺にかかり、右手と両足が不自由になり、一生を車椅子で過ごすことになってしまいます。マルガレーテの両親は、障害があっても自立できるようにと、学校に通わせ、裁縫もマスターするように育てました。20代になり、シュタイフ社の前身である「フェルト・メール・オーダーカンパニー」を設立し、女性や子ども服の販売を手がけます。

1880年12月、マルガレーテは、甥や姪たちのクリスマスプレゼントに象をモチーフにしたおもちゃを贈ることを考えつきました。素材には

フェルト、中身には最上の羊毛をつめこんだやわらかな象のおもちゃは全部で8体できあがりしました。子どもたちにはおもちゃとして、大人の女性には針刺しとしてプレゼントされた象のおもちゃは好評を得ました。ぬいぐるみづくりの



創業者 マルガレーテ・シュタイフ

きっかけとなったこの1880年シュタイフ社の創業の年とされています。

1897年から事業を手伝ってきたマルガレーテの甥リチャードは、「本物のようなクマのぬいぐるみ」の製作をマルガレーテに提案。これが世界で最初のテディベア



「テディベア」の生みの親であるリチャード・シュタイフ

とよばれる『55PB』で、首と手足が動き素材も最高級のものをつかった最高級で上品なぬいぐるみが誕生しました。この『55PB』は、見本市でアメリカ人バイヤーの目にとまり、やがて改良を重ね、量産体制に入ります。同じころ、アメリカでは、セオドア・ルーズベルト大統領の愛称である「テディ」とともに、クマのぬいぐるみの人気も高まっていく一方で、偽物や粗悪品も出回り始めました。そこで登場したのが、シュタイフ社製品であることを認証する「左耳にボタンをつける」というアイデアでした。これが世界最古のトレードマークでもある「ボタン・イン・イヤー」の始まりで、最高級の品質の証として、今日でも続いております。

世界最古のトレードマーク「ボタン・イン・イヤー」



白タグ+赤文字

地域限定、数量限定、年度限定、など生産数に制限のある限定品に付けられます。レプリカ以外の限定品の大半が、これにあたります。タグには、品番の他、生産年度、製造番号(シリアルナンバー)が表示されます。



白タグ+黒文字

1900年代初頭のシュタイフ製品を復刻したレプリカに付けられます。デザインが同じでも、サイズ、素材などが異なる場合は、このタグを付ける事が出来ません。タグには、品番の他、生産年度、製造番号(シリアルナンバー)が表示されます。



黄タグ+赤文字

定番商品に付けられます。カタログ掲載期間中は数に制限なく、注文に応じて生産されます。

シュタイフ日本総代理店 株式会社 MS1880

〒107-0062 東京都港区南青山3-13-24

TEL : 03-3402-1880(代表) FAX : 03-6432-9069 E-MAIL : info@steiff.co.jp